

引き続き、子育てされている方々のニーズ調査を行い、マップに掲載すべき施設情報を明らかにするとともに、WEBでのMAP公開を検討します

こども“も”一緒に～como☆project～の討議内容

こども“も”一緒に～como☆project～

メンバー

- ✓ 若者会議メンバー 3人

討議内容

□ 概要

- こどもを連れて市内に出かけると、「おむつ替えスペース」やこどもも入れる「休憩場所」などがわからなかったり、子育てしている方々が不自由を感じることもある
- 上記の不自由を解決するために、市内施設情報(おむつ替えスペースなど)を掲載した子育てマップ(仮称)を作成する

□ チームミッション(活動目的)

- 「こどもも一緒に出かけられる伊賀市」の実現

□ 今後のアクションプラン

- 引き続き、子育てされている方々のニーズ把握(どんな施設情報が欲しいか等)のため、島ヶ原ママの会に参加し、アンケート調査を実施する
- アンケート結果を踏まえて、マップに掲載すべき情報を検討する
- MAPはWEB(Googlemap)版をまず作成すべきか検討を行う。
- 9月中には地図に掲載する情報収集のために街中を歩く

当面は、若者ファーム運営に必要な農業に係る知見やノウハウの習得を目指します

若者ファームの討議内容

若者ファーム

メンバー

- ✓ 若者会議メンバー 2人

討議内容

□ 概要

- 最終的には、市内にある休耕地等を活用し、若者会議プロデュースによる「若者ファーム」(田畑)を作る
- 現時点では、田畑を管理するノウハウや農業に対する知見が若者会議メンバーに不足しているため、農業従事者のお手伝いを通じて、「若者ファーム」を運営するノウハウを取得する

□ チームミッション(活動目的)

- 若者会議メンバー以外にも、近隣住民や高校生や子供たちも自由に集えるようにすることで、地域交流の場所や機会を創出すること
- 農業の知見を頂戴するために、伊賀白鳳高校の農業系コースや愛農学園とも連携も行うことで、IGABITO育成につなげる
- 生産した作物を市内外に販売すること(他ソリューションや市事業との連携)で、若者会議の活動を市内外に広く知ってもらうこと

□ 今後のアクションプラン

- 市役所担当課の協力のもと、農業従事者の方々を紹介してもらい、農業のお手伝いをさせていただく

名称を伊賀ミートに変更、 今後ミニ伊賀ミートを実施し検討項目を明確化した上で、詳細検討を進めていきます

伊賀ミートの討議内容

伊賀ミート

メンバー

✓ 若者会議メンバー 9人

討議内容

□ 概要

- ・ 伊賀での魅力的なスローライフをSNS(インスタグラム等)を活用して、市内外に発信する。

□ チームミッション(活動目的)

- ・ 伊賀市の日常における素敵な場面や資源を整理し、SNS(インスタグラム)による市内外に広く発信することで、伊賀市を魅力的に感じてもらう人やこれら活動に参加してもらうを増やす。

□ 今後のアクションプラン

- ・ 伊賀ミートに名称を変更。“伊賀(の魅力)の再発見”し、発信するスキームを今後検討していく。
- ・ 方針・目的策定を第3回企画会議では実施。一部活動概要についても検討を進めているが、今後引き続きブラッシュアップを行う。
- ・ 第3回企画会議では、チームの目的やターゲット、活動内容の概要について検討を実施。
- ・ 実際に実施してみなければ、詳細の検討項目が顕在化しないため、若者会議メンバーのみで行うミニ伊賀ミートの開催を検討。

第3回企画会議から芽としてプロジェクト始動し、活動の目的や概要についての検討を進めており、今後詳細に関する検討を進めていく予定です

伊賀PR動画作成プロジェクト

伊賀PR動画作成プロジェクト

メンバー

- ✓ 若者会議メンバー6人

討議内容

- 概要
 - ・ 初期案として、あたかも伊賀の街中を歩いているように錯覚するような「街歩き動画」の作成を行う
- チームミッション(活動目的)
 - ・ 伊賀市をPRする動画を作成し、国内外に“伊賀の魅力”発信し、観光誘客を目指す
- 今後のアクションプラン
 - ・ 伊賀PR動画作成プロジェクトは第3回企画会議で初めて発案され、芽として活動が開始された
 - ・ プロジェクト実施の背景や目的の整理を行った
 - ・ 6W1Hのフレームワーク (Who誰が、Whyどのような理由で(目的で)、Whereどこで、Whenいつ、Whom誰に、What何を、Howどのように)を用い、プロジェクトの実施概要について検討を進めた
 - ・ 今後は「市民を巻き込んでいく方法の検討」や「協力者のリストアップ・選定」、「クラウドファンディング等を活用した資金調達スキームの検討(低コストでの実施を主眼)」、「動画の詳細設計」を進めていく予定

東京で開催されるまちづくりラウンドテーブルに向けて「伊賀を思い出し帰りたくなる」ようなクイズを検討し、実施するよう進めております

伊賀学王の討議内容

伊賀学王決定戦 in Tokyo

メンバー

- ✓ 若者会議メンバー 8人

討議内容

- 概要
 - ・ 第五回まちづくりラウンドテーブル(in Tokyo)において、伊賀学クイズを実施する。
- チームミッション(活動目的)
 - ・ テーマ:「伊賀を思い出し、帰りたくなるクイズ」
 - ・ クイズ形式:チーム制にしてグループ内でコミュニケーションを図れるようにする
 - ・ 時間:20分程度を想定
 - ・ クイズ内容検討(現在、11問程度の案を作成、視覚、味覚で伊賀を思い出す、伊賀の今を知る、懐かしい、等のクイズ)
- 今後のアクションプラン
 - ・ 景品をどのように手配するか
 - ・ クイズを6~7問程度に絞り込み
 - ・ 具体的な実施手順の整理